

政府統計の精度維持・向上に向けた取組について

平成28年3月24日
高市議員提出資料

新たな統計行政機能の改善・強化の方向性

政府統計の精度や信頼性の維持の重要性

- 政府統計の精度や信頼性を維持することは、経済実態を正確に把握し、政策を企画・立案するために必要不可欠。

統計精度改善のためのPDCAスキームの確立

- 総務省として、**統計委員会の総務省移管を機に、統計委員会を中核として、統計関係部局、専門人材の力を結集し、統計作成府省、各府省政策部局、日本銀行、外部有識者等と連携して統計精度改善のPDCAサイクルを確立する。**

統計局所管統計の改善

- 家計調査を始め**統計局所管統計**についても、母集団推定における補正推計の適切な実施、ビッグデータも活用した新たな指標の研究や、ICTを活用した新たな調査手法の開発など、**政府統計のフロントランナーとして精度の向上に積極的に取り組む。**

総務省における新たな体制づくり

- 4月に以下の新たな体制を立ち上げるとともに、総務省の統計関係部局等の機能を改善・強化し、**統計委員会及び各府省を強力にサポートする。**
 - ①年度後半に統計委員会が精度改善の審議を出来るようにするため、**PDCAサイクル策定支援チーム**（仮称）を設置する。
 - ②統計委員会及び各府省の統計改善業務を支援するため、**統計技術改善支援PT**（仮称）を統計研修所に設け、統計技術改善に関する技術的手法等について、研究開発を行う。

政府統計の精度維持・向上の仕組み（PDCA）のイメージ

- 政府統計について、**統計の歪みを定期的に検知・検査する仕組みを整備**し、統計精度改善のPDCAサイクルスキームを確立
- 各府省が所管行政の統計を正しく設計、分析、補正など行えるようにするため、研修、技術研究等の機能・体制を強化

